

# 正誤表

## (抜粋版)

気象庁訳（2015年7月1日版）

### 注意

- ・ この資料は、IPCC 第5次評価報告書第1作業部会報告書の正誤表を、日本語訳版に関連する部分について抜粋して翻訳・作成したものである。
- ・ この翻訳は、IPCC ホームページに掲載された正誤表（2015年4月17日版）  
[http://www.climatechange2013.org/images/report/WG1AR5\\_Errata\\_17042015.pdf](http://www.climatechange2013.org/images/report/WG1AR5_Errata_17042015.pdf)  
に準拠している。
- ・ 英語版と修正箇所のパージや行番号等が異なるため、「修正内容」の表記の仕方を英語版から変更している。

# 気候変動 2013: 自然科学的根拠

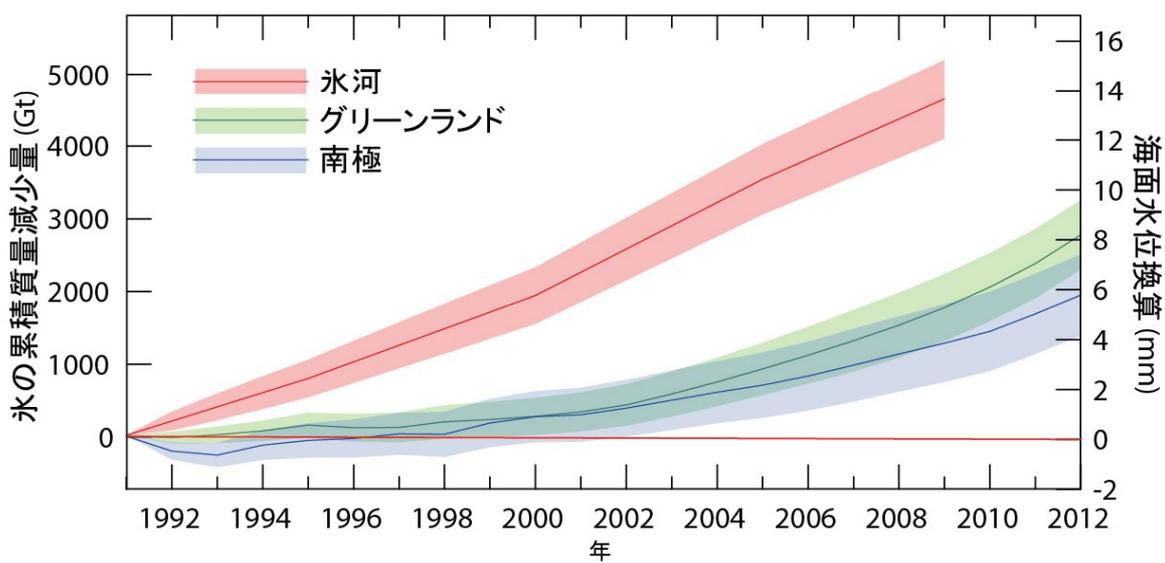
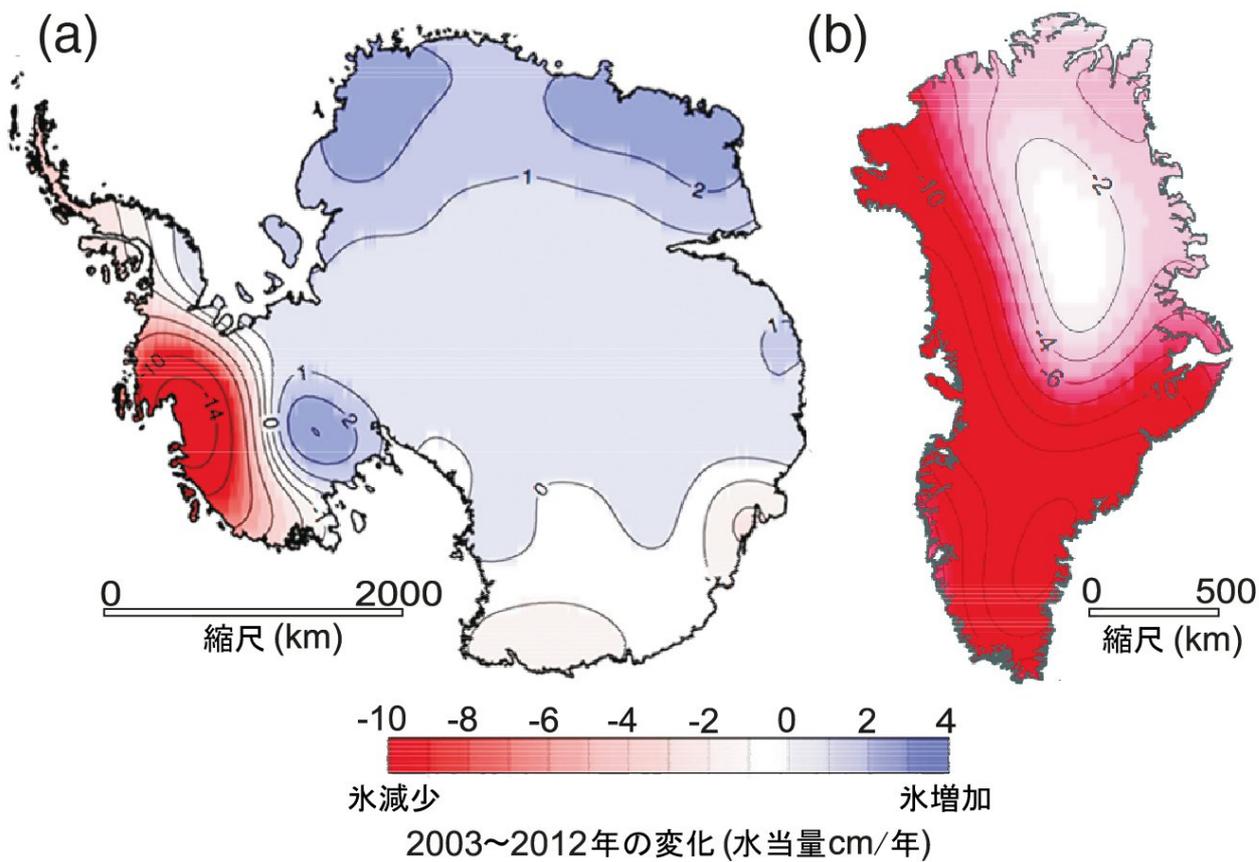
気候変動に関する政府間パネル 第5次評価報告書 第1作業部会報告書

## 正誤表(抜粋版)

ページ	項目	日本語版のページ	修正内容
20	政策決定者向け要約 E.1	政策決定者向け要約 18 ページ	E.1 大気：気温 箇条書き 3 番目 4 行目 誤：...RCP4.5 シナリオではどちらかと言えば 2°Cを上回るが(高い確信度)、... 正：...RCP4.5 シナリオではどちらかと言えば 2°Cを上回るが(中程度の確信度)、...
28	政策決定者向け要約 E.8	政策決定者向け要約 26 ページ	E.8 気候の安定化、気候変動の不可避性と、気候変動の不可逆性 箇条書き 5 番目 5 行目 誤：...700 ppm を超えるが 1500 ppm には達しない二酸化炭素濃度... 正：...2100 年に 700 ppm を超えるが 1500 ppm には達しない二酸化炭素換算濃度...
38	技術要約 図 TS.1	技術要約 38 ページ	氷河の質量収支の単位 誤： $10^{15}$ Gt 正： $10^3$ Gt (別添図参照)
39	技術要約 TS.2.3 節	技術要約 39 ページ	TS.2.3 節 第 2 パラグラフ 12 行目 誤：...その変化傾向の推定値は $275 \times 10^{15}$ W となる。 正：...その変化傾向の推定値は $275 \times 10^{12}$ W となる。
40	技術要約 TS.2.5.1 節	技術要約 40 ページ	TS.2.5.1 節 第 1 パラグラフ 12 行目 誤：...確信度は低い(TFE.1 図 1)。{2.5.1} 正：...確信度は低い(TFE.1 図 2)。{2.5.1} TS.2.5.1 節 第 2 パラグラフ 6 行目 誤：...低下していることが観測されている。{2.4.4、2.5.5、2.5.6} 正：...低下していることが観測されている。{2.4.4、2.5.4、2.5.5} TS.2.5.1 節 第 3 パラグラフ 4 行目 誤：...依然として確信度は低い。{2.5.7} 正：...依然として確信度は低い。{2.5.6}
41	技術要約 図 TS.3	技術要約 41 ページ	正誤表 図 4.25(下)と整合させるため、図 TS.3 を正誤表 図 TS.3 と差替える。(注：日本語版は反映済み)
41	技術要約 図 TS.3	技術要約 41 ページ	図 TS.3 キャプション 4 行目 誤：...氷床周辺の氷河を除いている。{4.3.4; 図 4.12~4.14、... 正：...氷床周辺の氷河を除いている。{4.3、4.4; 図 4.12~4.14、...
43	技術要約 TFE.1 図 1	技術要約 43 ページ	図 c のカラーバースケールの単位 誤：(実用塩分スケール/10 年) 正：(実用塩分スケール/50 年) (別添図参照)
46	技術要約 TS.2.5.4 節	技術要約 46 ページ	TS.2.5.4 節 第 6 パラグラフ 5 行目 誤：...大きな熱フラックスにあることの確信度は低い。 正：...大きな熱フラックスにあることの確信度は中程度である。
46	技術要約 TS.2.6 節	技術要約 46 ページ	TS.2.6 節 第 5 パラグラフ 12 行目 誤：...推定値は $0.000 [-0.002 \sim 0.002]$ mm/年 <sup>2</sup> から $0.013 [-0.007 \sim 0.019]$ mm/年 <sup>2</sup> の範囲にわたっている。{3.7、5.6.3、13.2} 正：...推定値は $0.000 [-0.002 \sim 0.002]$ mm/年 <sup>2</sup> から $0.013 [0.007 \sim 0.019]$ mm/年 <sup>2</sup> の範囲にわたっている。{3.7、5.6.3、13.2}

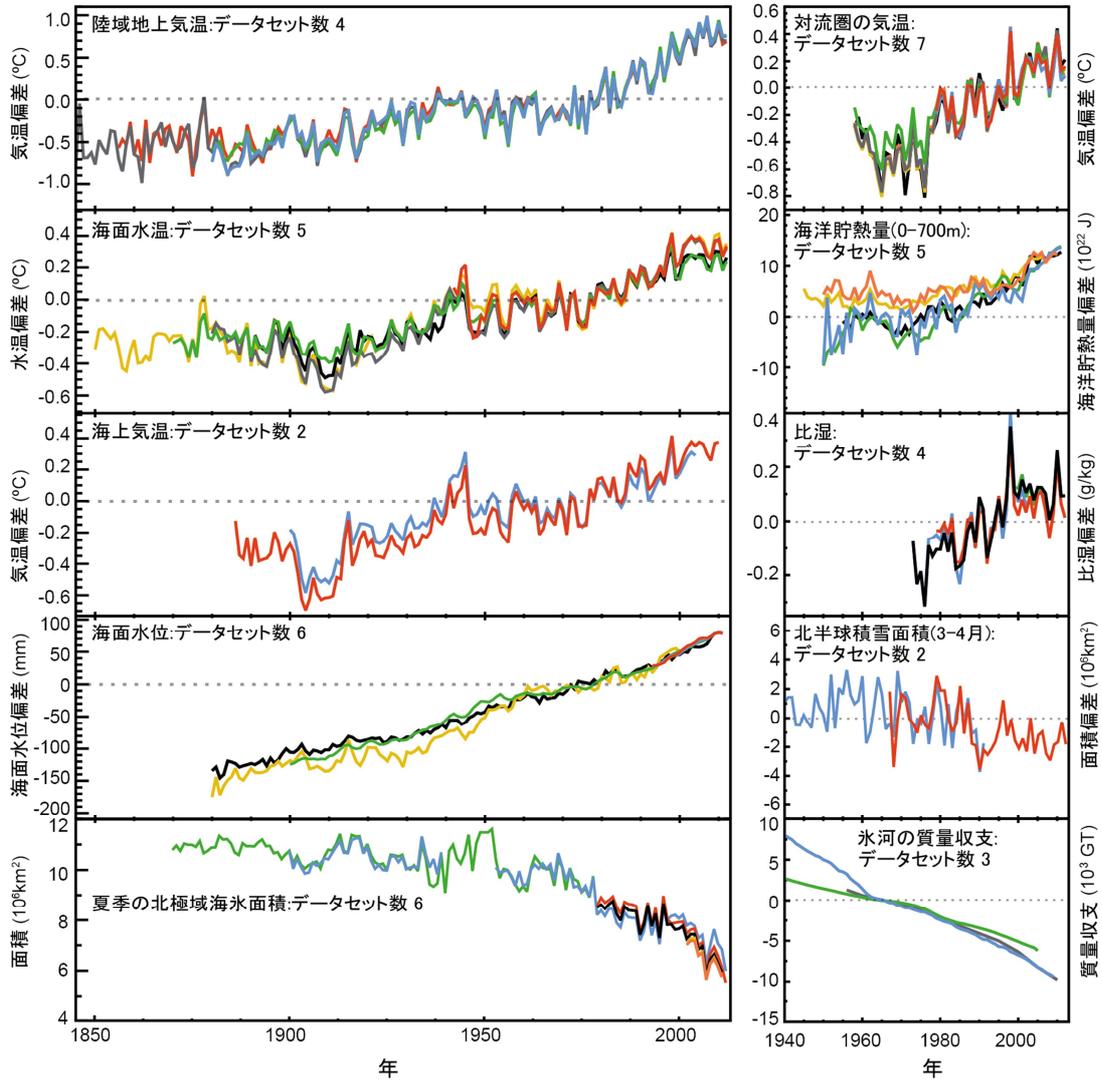
ページ	項目	日本語版のページ	修正内容
74	技術要約 図 TS.12	技術要約 74 ページ	図 TS.12 キャプション 4 行目 誤：...再現された応答の 5~95%の信頼区間(前者が青、後者がピンクの陰影部分)を、 <b>対応するアンサンブル平均(それぞれ濃い青と濃い赤)と合わせて</b> 示している。 正：...再現された応答の 5~95%の信頼区間(前者が青、後者がピンクの陰影部分)を示している。 図 TS.12 キャプション 7 行目 誤：地上気温と海面水温の図 <b>及び降水量の図</b> については、.. 正：地上気温と海面水温の図については、...
86	技術要約 図 TS.13	技術要約 86 ページ	図 TS.13 キャプション 1 行目~2 行目 誤： <b>主な</b> 気候指数についての十年予報の品質。(上)世界平均地上気温(左)と大西洋数十年規模変動(AMV、右)の <b>3 つ</b> の気候指数についての、.. 正： <b>2 つ</b> の気候指数についての十年予報の品質。(上)世界平均地上気温(左)と大西洋数十年規模変動(AMV、右)の <b>2 つ</b> の気候指数についての、...
88	技術要約 TS.5.4.5 節	技術要約 88 ページ	TS.5.4.5 節 第 2 パラグラフ 5 行目 誤：もともと、減退の速度と程度は非常に不確実であり、 <b>この循環が数十年間強まるようなことも予測される。</b> 正：もともと、減退の速度と程度は非常に不確実であり、 <b>数十年間規模で強まる時期もあるかもしれない。</b>
91	技術要約 TS.5.5.4 節	技術要約 90 ページ	TS.5.5.4 節 第 3 パラグラフ 10 行目 誤：...今世紀末までに降水量は増加する <b>可能性が非常に高い。</b> 正：...今世紀末までに降水量は増加する <b>可能性が高い。</b>
92	技術要約 TS.5.5.4 節	技術要約 91 ページ	TS.5.5.4 節 第 5 パラグラフ 13 行目 誤： <b>地中海沿岸域やアフリカ南部地域</b> における土壌水分の減少は、.. 正： <b>地中海沿岸域、米国南西部、アフリカ南部地域</b> における土壌水分の減少は、...
100	技術要約 TS.5.7.2 節	技術要約 100 ページ	TS.5.7.2 節 第 1 パラグラフ 7 行目 誤：RCP8.5 のように <b>CO<sub>2</sub> 濃度</b> が 700 ppm を超えるが 1500 ppm には達しない場合に相当する放射強制力.. 正：RCP8.5 のように <b>二酸化炭素換算濃度</b> が 700 ppm を超えるが 1500 ppm には達しない場合に相当する放射強制力.. TS.5.7.2 節 第 2 パラグラフ 5 行目 誤：...(現在は海面水位換算で約 <b>0.43 m</b> ).. 正：...(現在は海面水位換算で約 <b>0.41 m</b> )..
108	技術要約 図 TS.26	技術要約 108 ページ	図 TS.26 キャプション 7 行目 誤：指標が表示されていないところは、十分なデータが入手できない( <b>X</b> と表示)ために.. 正：指標が表示されていないところは、十分なデータが入手できない( <b>データ不十分</b> と表示)ために...
115	技術要約 TS.6.4 節	技術要約 115 ページ	TS.6.4 節 箇条書き 2 番目 2 行目 誤：北半球での低気圧経路と偏西風が北方向へ移動するという近未来予測については、 <b>確信度は中程度</b> である。 正：北半球での低気圧経路と偏西風が北方向へ移動するという近未来予測については、 <b>確信度は低い</b> 。
162	第 2 章 概要	概要 9 ページ	極端現象 第 3 パラグラフ 10 行目 誤：...北アメリカ中央部とオーストラリア北西部で減少した <b>可能性が高い</b> 。 <b>{2.6.2.2}</b> 正：...北アメリカ中央部とオーストラリア北西部で減少した <b>可能性が高い</b> 。 <b>{2.6.2.3}</b>
199	第 2 章 FAQ 2.1 図 2	よくある質問と回答 8 ページ	FAQ 2.1 図 2 氷河の質量収支の単位 誤： <b>10<sup>15</sup> Gt</b> 正： <b>10<sup>3</sup> Gt</b> (別添図参照)

ページ	項目	日本語版のページ	修正内容
218	第2章 FAQ 2.2 図1	よくある質問と回答 9 ページ	FAQ 2.2 図1 水平軸（気温偏差）のラベル 誤：-15 -10 -5 0 <b>10</b> <b>5</b> 15 正：-15 -10 -5 0 <b>5</b> <b>10</b> 15（別添図参照）
270	第3章 FAQ 3.2 図1	よくある質問と回答 14 ページ	図cのカラーバースケールの単位 誤：（実用塩分スケール/10年） 正：（実用塩分スケール/50年）（別添図参照）
297	第3章 FAQ 3.3	よくある質問と回答 15 ページ	FAQ 3.3 第6パラグラフ 5行目 誤：…（全炭酸 C <sub>T</sub> の増加分が10%減、表1の第4列と6列を参照）が、… 正：…（全炭酸 C <sub>T</sub> の増加分が10%減、 <b>FAQ 3.3</b> 表1の第4列と6列を参照）が、…
298	第3章 FAQ 3.3 図1	よくある質問と回答 16 ページ	FAQ 3.3 図1 水平軸（年）のラベル 誤：…1994 <b>1998</b> <b>1996</b> 2000 … 正：… 1994 <b>1996</b> <b>1998</b> 2000 …（別添図参照）
320	第4章 概要	概要 16 ページ	淡水氷 第1パラグラフ 8-9行目 誤：北アメリカの五大湖では、 <b>平均結氷期間</b> は1973～2010年の期間に71%減少した。 正：北アメリカの五大湖では、 <b>平均結氷面積</b> は1973～2010年の期間に71%減少した。
393	第5章 FAQ 5.1	よくある質問と回答 22 ページ	FAQ 5.1 第10パラグラフ 2行目 誤：1870年から2010年にかけて観測された世界平均地上気温の変動性は(図1a)、自然… 正：1870年から2010年にかけて観測された世界平均地上気温の変動性は( <b>FAQ 5.1</b> 図1a)、自然…
574	第7章 概要	概要 28 ページ	エアロゾルと雲に起因する気候強制力の定量化 第1パラグラフ 14行目 誤：…バイオ燃料からの排出 <sup>4</sup> は、硫酸塩エアロゾル… 正：…バイオ燃料からの排出 <sup>5</sup> は、硫酸塩エアロゾル… 18行目 脚注番号5を削除し、以下の脚注を挿入する。 <b>バイオマス燃焼からの排出による RF<sub>ari</sub> は、黒色炭素による正の RF<sub>ari</sub> と、有機炭素による負の RF<sub>ari</sub> で構成されている。</b>
684	第8章 FAQ 8.2 図1	よくある質問と回答 39 ページ	図 FAQ8.2 図1 キャプション 1行目 誤：…影響の概略図。 <b>黒</b> の実線は… 正：…影響の概略図。実線は…
956	第11章 概要	概要 44 ページ	予測された水循環と大気循環の変化 第4パラグラフ 2行目 誤：北半球での低気圧経路と偏西風が北方向に移動するという近未来予測については、 <b>確信度は中程度</b> である。{11.3.2} 正：北半球での低気圧経路と偏西風が北方向に移動するという近未来予測については、 <b>確信度は低い</b> 。{11.3.2}
1140	第13章 概要	概要 52 ページ	世界平均海面水位上昇の予測 第3パラグラフ 11行目 誤：RCP8.5 シナリオのように二酸化炭素換算濃度が700 ppm を超えるが1500 ppm には達しない場合に相当する… 正：RCP8.5 シナリオのように <b>2100年</b> において二酸化炭素換算濃度が700 ppm を超えるが1500 ppm には達しない場合に相当する…

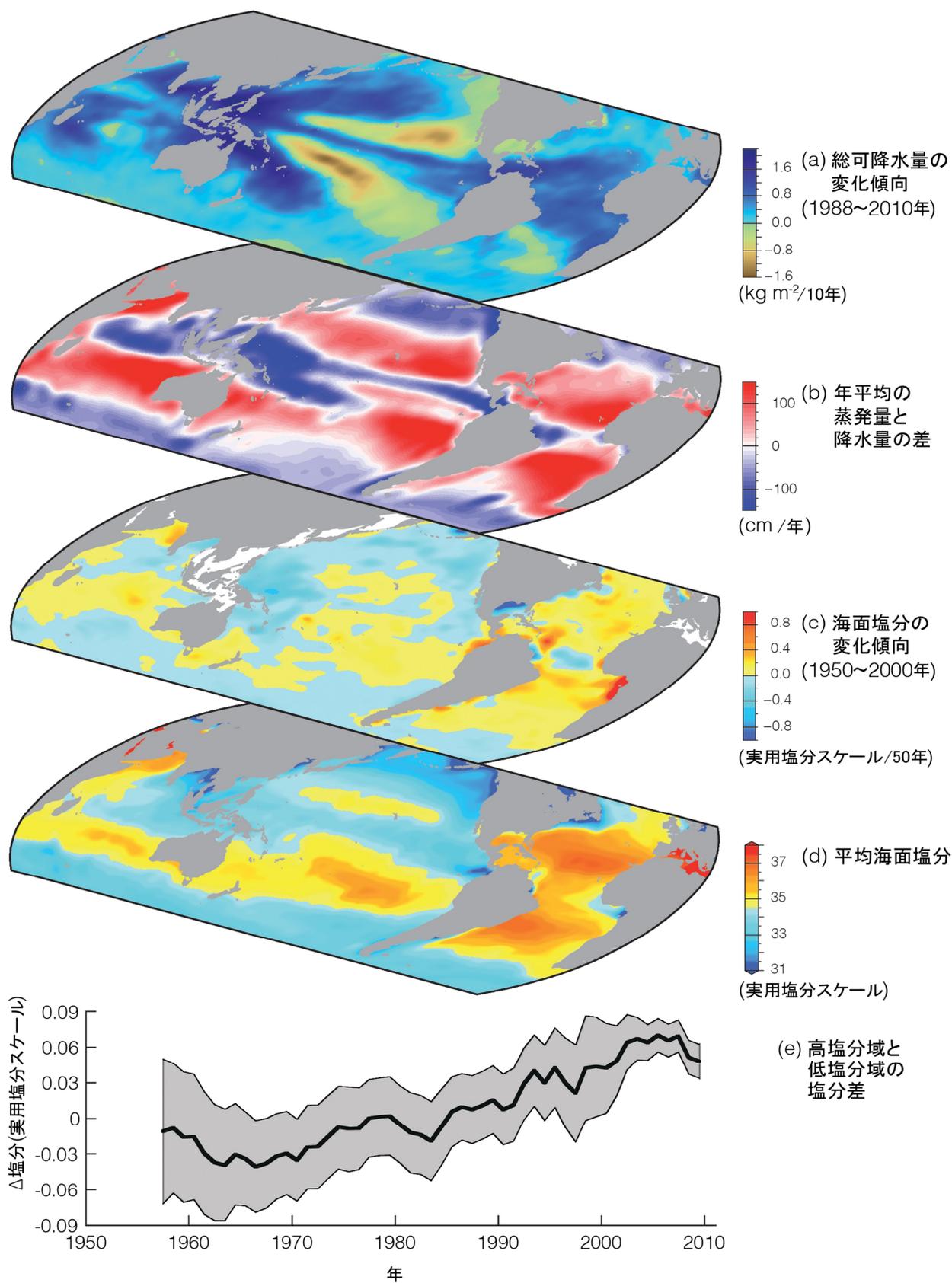


正誤表 図 TS.3

【参考;修正内容を反映させた図】

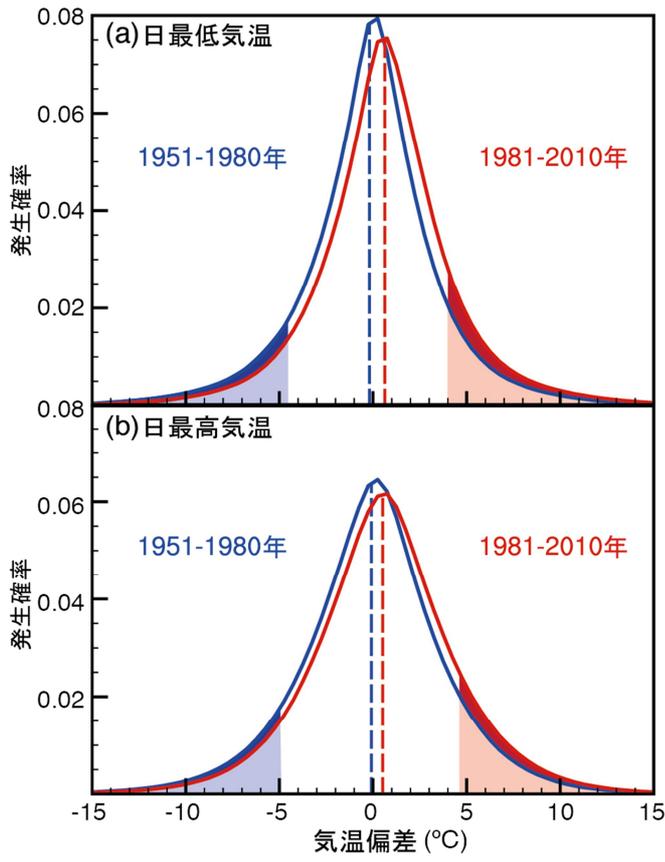


技術要約 図 TS.1 及び FAQ 2.1 図 2

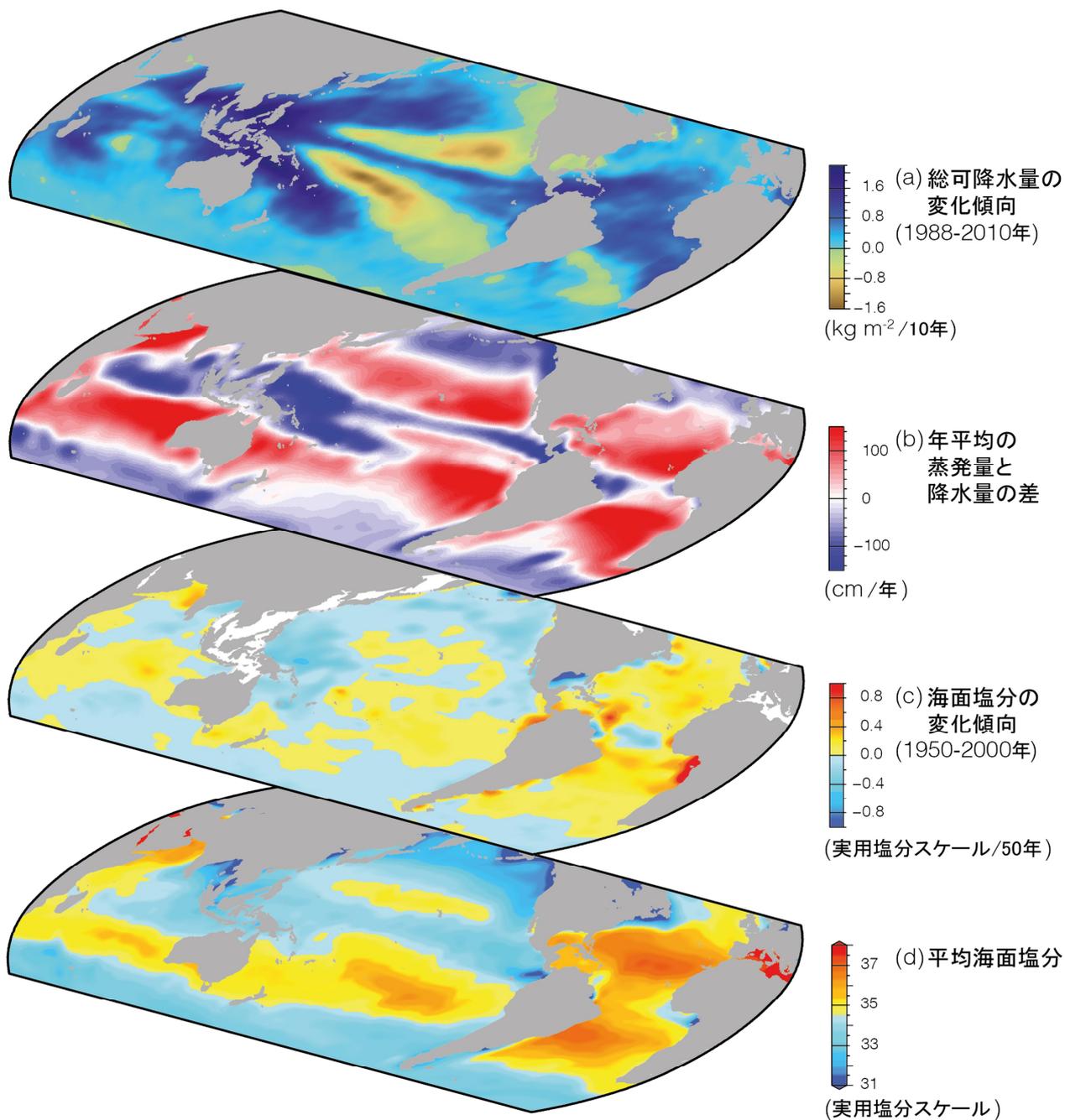


正誤表

技術要約 TFE.1 図 1

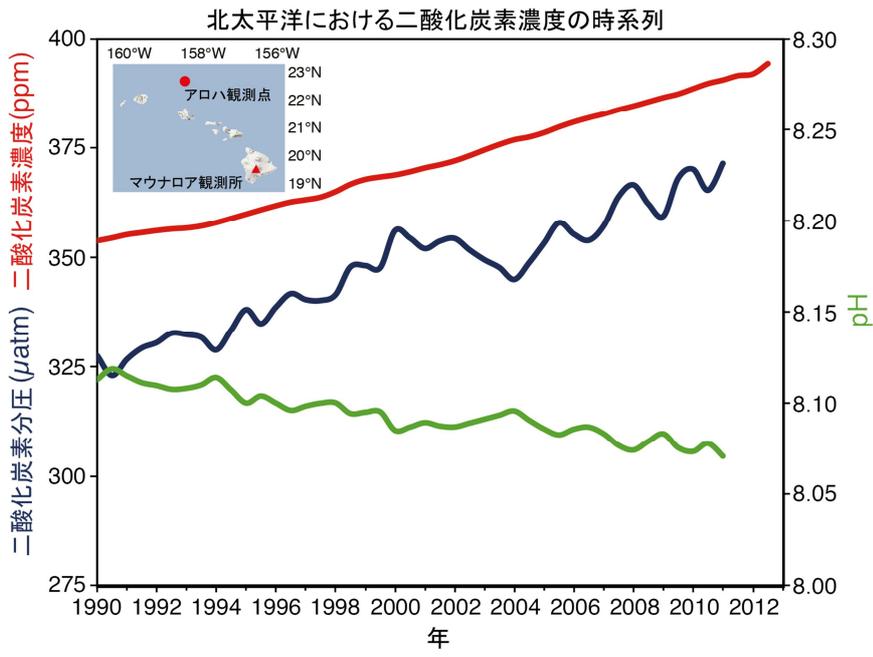


FAQ 2.2 図 1



正誤表

FAQ 3.2 図 1



FAQ 3.3 図 1

**【文書履歴】**

2014年9月30日版（2014年9月26日版正誤表に準拠；気象庁ホームページ公開）

2015年1月20日版（2014年12月18日版正誤表に準拠）

2015年3月31日版（2015年2月13日版正誤表に準拠）

2015年7月1日版（2015年4月17日版正誤表に準拠）

